

PHOTO PAL CLUB 第3回 写真展

2024. 12. 3(火) - 12.9(月) 10:00 - 17:00 横浜市民ギャラリー 1階 展示室

PERSPECTIVE

見る, 感じる, 考える そして 表現する

No.1 例大祭の日

渡部 和範 Kazunori Watanabe
小動神社例大祭と言えば、江ノ電と神輿のコラボです。
祭人の意気込みを感じとっていただければ幸いです。
【撮影地】 鎌倉腰越界隈

No.2 New Shibuya

中野 雅子 Masako Nakano
近未来的なデザイン空間にゆとりを感じる街。
街の色も美しい。工事中でも景観に配慮。変わりゆく Shibuya の街作りに注目。
【撮影地】 渋谷 さくら通りほか

No.3 光と影と灯と

井関 正敏 Masatoshi Iseki
カメラを手に光と影の中を彷徨う。黄昏のコントラスト、夜の瞳。
心が動いた瞬間をただ信じてシャッターを切った。
【撮影地】 東京都, 横浜市, 鎌倉市, 京都市

No.4 祭りの断章

立川 明 Akira Tachikawa
祭りというものは実に興味深いものだ。伝統文化、民俗芸能などと割り切れない、何か底知れない神秘性と不可思議なエネルギーを含んでいて、実に魅力的で面白いと感じさせられる。
【撮影地】 岐阜県・長野県・岩手県 など

No.5 ほくとの花便り

中道 勉 Tsutomu Nakamichi
平成の大合併(8町村)から市政 20 年。豊富な水資源、美しい山岳景観に恵まれた北杜市。その魅力を、春から秋にかけての花便りで表現してみました。
【撮影地】 山梨県 北杜市

No.6 海に生きる

市川 幸子 Sachiko Ichikawa
日の出前の早朝女性一人で、漁港のない海岸から台車に乗せた船を押して海に出て漁をする漁師さんを撮影
【撮影地】 鎌倉市材木座海岸

No.7 サハラを歩く

岩切 美春 Miharu Iwakiri
サハラ砂漠で日の出を迎えるツアーに参加、その折に、先住民族ベルベル人のテントでミントティを味わった。出会った若者のまなざしは美しく穏やかでした。
【撮影地】 サハラ砂漠

No.8 陸(おか)まわり

武田 典子 Noriko Takeda
午後は刺し網漁で捕れたスケソウダラを丁寧に網からはずす「おかまわり」の作業です。雪の少ない曇りの日、作業場の光、黙々と働く人々を捉えてみました。
北海道 積丹半島の北東 古平

No.9 RAINY DAYS

中里 元子 Motoko Nakasato
降っているのに見えない雨。
そんな雨降りに傘に落ちる雨音を感じながら歩くのがいい。来し方行く末に想いを巡らせながら歩くのがいい。
【撮影地】 神奈川県 山梨県 長野県など

No.10 This year's challenge

渡辺 隆弘 Takahiro Watanabe
今年の興味を持った3分野です。
1. モノクロに挑戦。
2. スローシャッターでダンサーを撮る。
3. 静物を絵画のように撮る。
【撮影地】 吉祥寺他、後幕(東京)、静物(東京)など

No.11 祭りに集う

森 健 Takeshi Mori
鎌倉市内の各所に点在する小さな神社の祭りは、昔ながらの村祭りの雰囲気を残しており、氏子達は老若男女総出で祭りに関わり祭りを楽しんでいる。
【撮影地】 鎌倉

No.12 洋館めぐり

鈴木 美智子 Michiko Suzuki
ときどき建物を撮影します。その中でまあまあと自分で思っているものですが、、、
【撮影地】 神奈川県

No.13 笑顔の世さ来い

橘田 昌明 Masaaki Kitta
よさこい祭りの舞姫たちの表情を撮らせてもらった。どの女性も心の底から湧き出てくる明るく豊かな笑顔を見せてくれた。世界中の誰もが笑顔の世が来る事を願う。
【撮影地】 東京よさこい(池袋)

No.14 雪降る街

赤沼 眞一 Shinichi Akanuma
2024年1月、能登半島の震災直後に身内の不幸で松本へ。1時間程早く着いたホテルの窓越しに眺めるいつもの街。雪は静かに降り積る。
【撮影地】 長野県松本市

No.15 今年の一枚

第3回写真展の新しい試みとして、会員相互の写真交流成果を「思い入れのある今年の一枚」に託して表現してみました。

御礼

本日は、当クラブ写真展をご高覧頂き誠に有難うございました。御礼申し上げます。
なお、当クラブ独自のホームページを作成し、会員活動を紹介しています。ご覧頂ければ幸いです。

